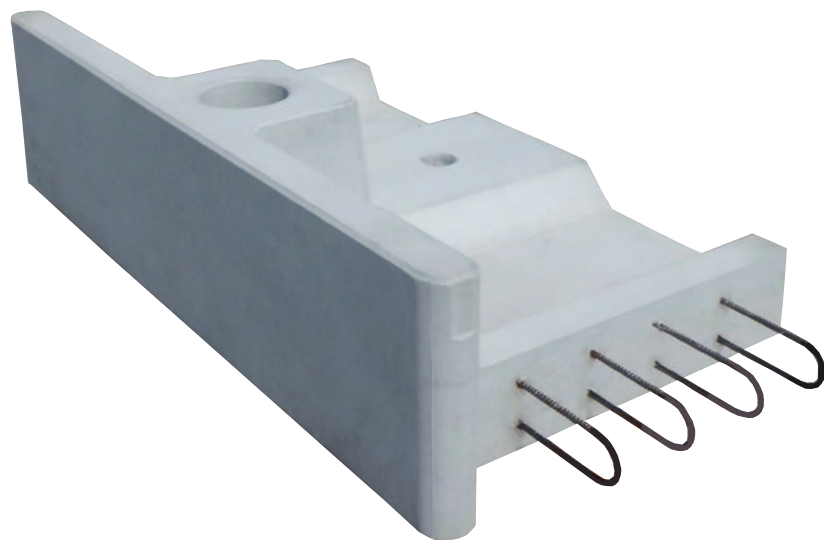


ガードレール基礎



■特長

防護柵基礎をプレキャスト化することによって施工性・安全性・経済性・工期短縮の向上に繋がります。また『車両用防護柵標準仕様・同解説』、『防護柵の設置基準・同解説』、『道路土工指針』に準拠しています。

■適用区間

防護柵種別 B～C 種に対応

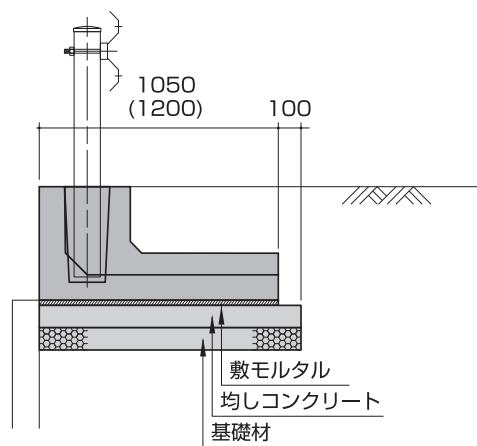
車両用防護柵は、道路の区分、設計速度及び設置する区間に応じて、次表に示す種別を適用する。

道路区分	設計速度	適用区間		
		一般区間	重大な被害が発生するおそれのある区間	新幹線などと交差または近接する区間
高速自動車国道	80 k m/h 以上	A,Am	SB,SBm	SS
自動車専用道路	60 k m/h 以下		SC,SCm	SA
その他の道路 (一般国道 都道府県道 市町村道)	60 k m/h 以上	B,Bm,Bp	A,Am,Ap	SB,SBp
	50 k m/h 以下	C,Cm,Cp	B,Bm,Bp	

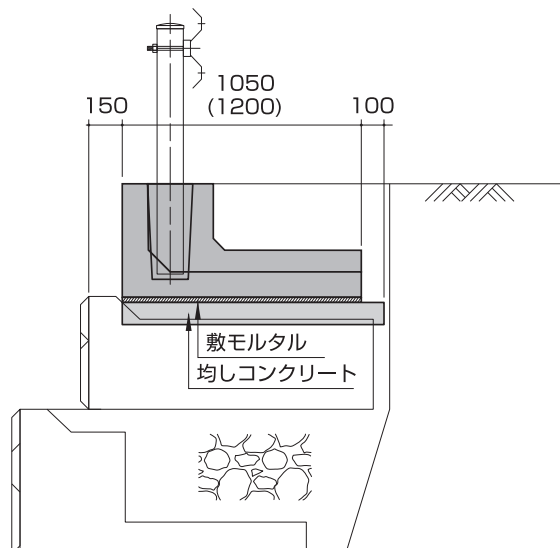
注：水色の部分が適用区間となります。

■施工例

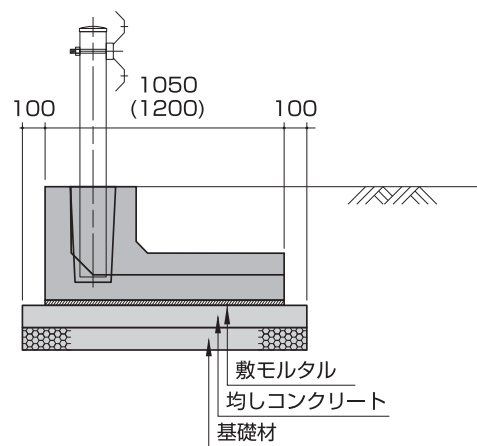
プレキャストL型擁壁の場合



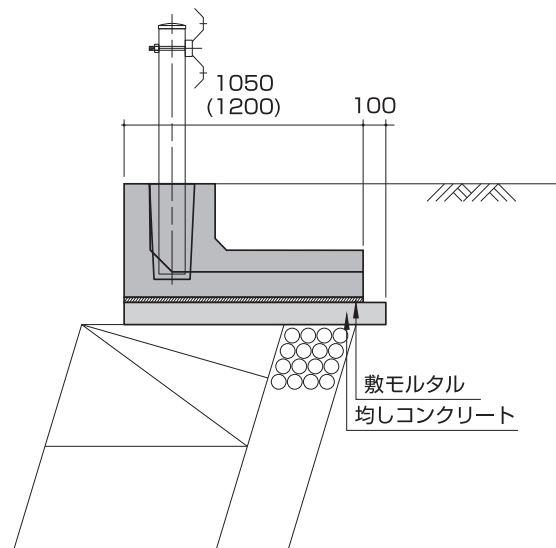
箱型擁壁の場合



盛土等の場合（構造物がない場合）



大型ブロック・積ブロック等の場合

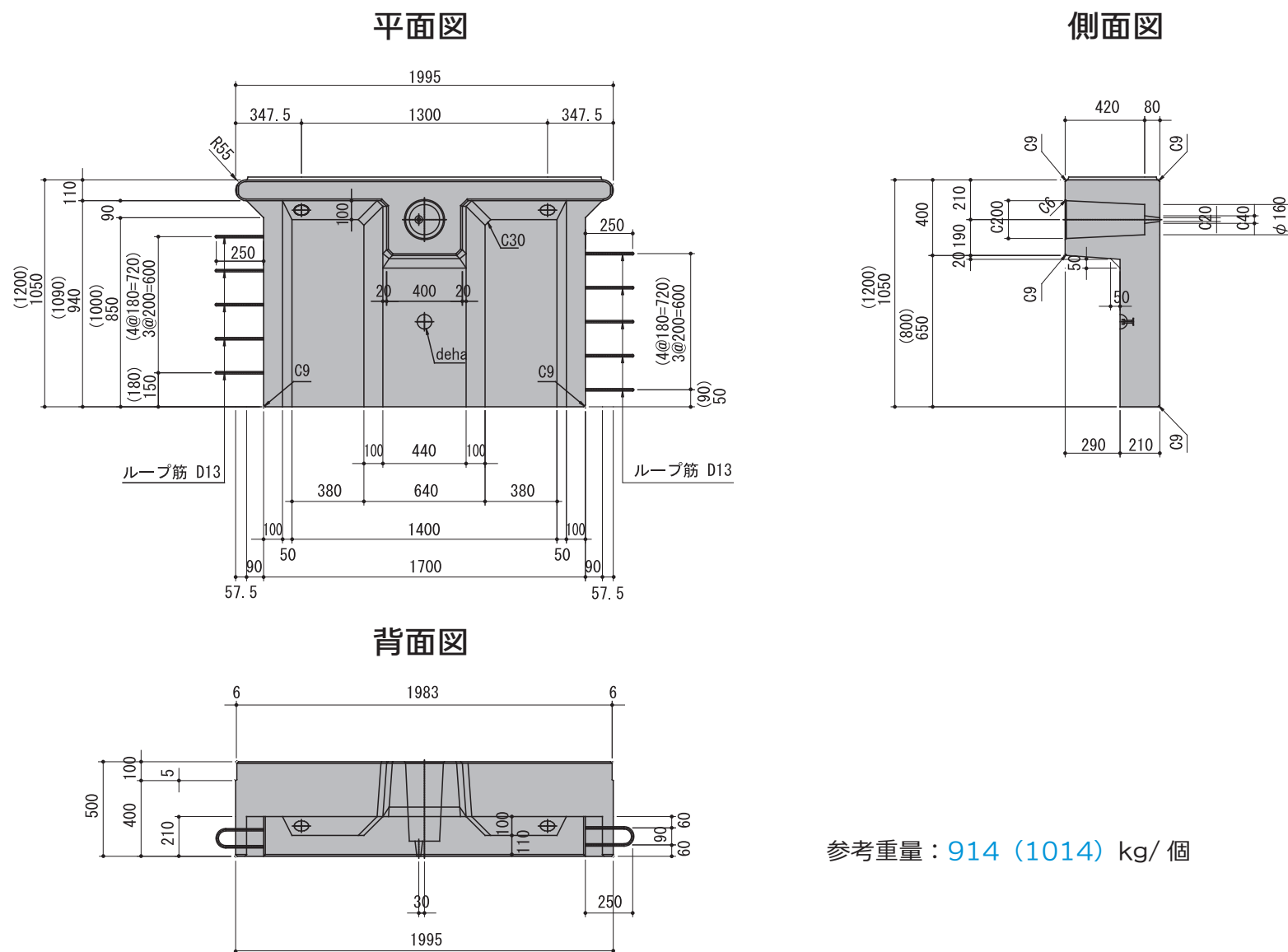


※（ ）の値は底版幅（B）1200を表します

ガードレール基礎

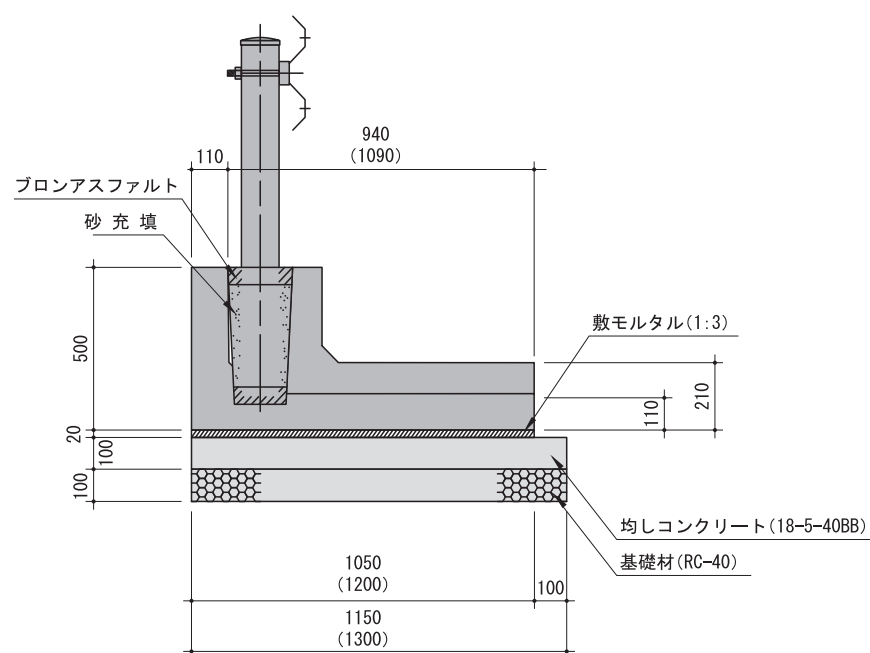
■形状寸法

製品の種類は標準 (B) 1050 (1200) × (L) 1995 × (H) 500 で B・C 種規格に対応。



※設計条件に応じた底版幅 (B) 1200 も準備しております。

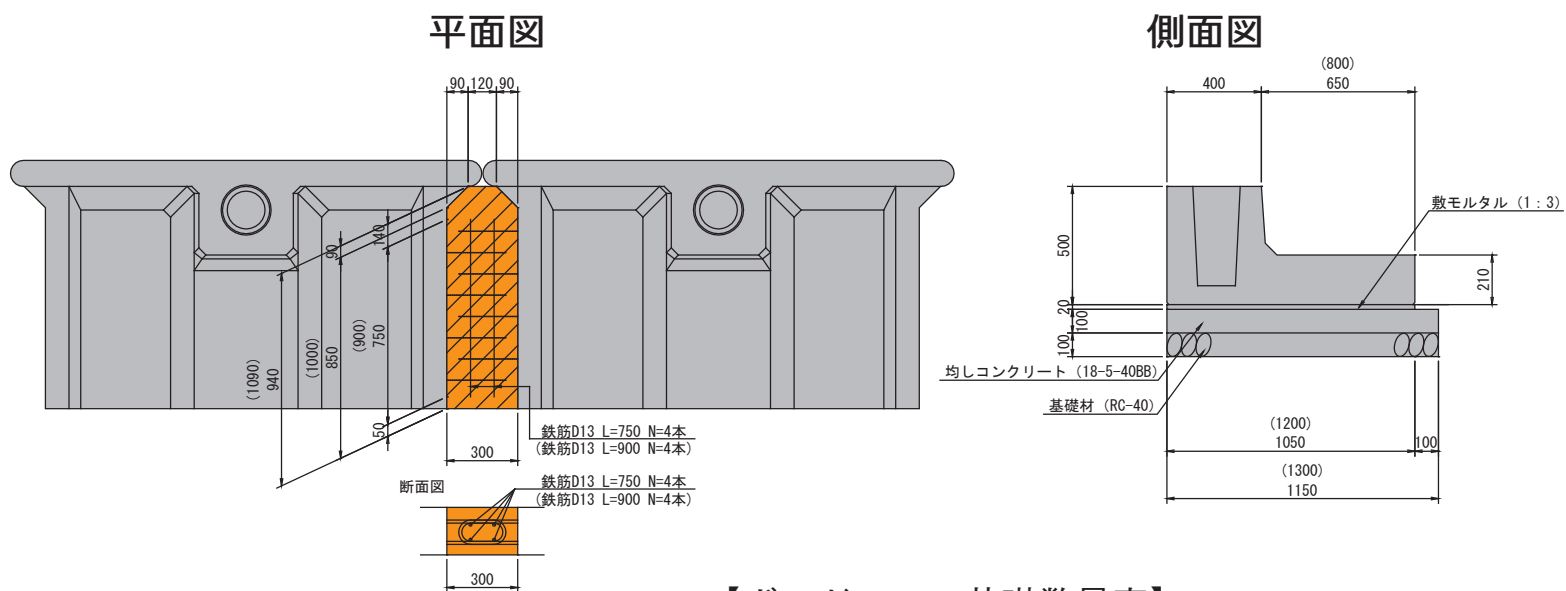
標準構造図



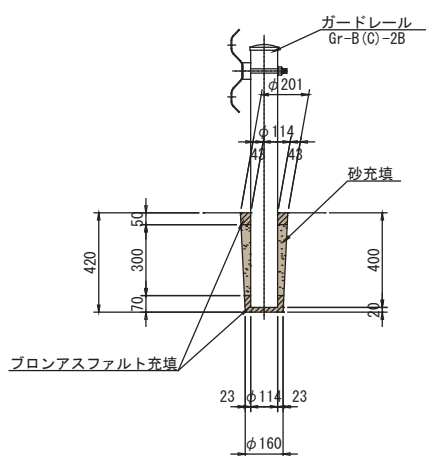
- ・基礎構造については、基礎地盤の状況に応じて決定してください。
- ・基礎地盤が良好な場合は基礎材を取り除いても結構です。
- ・基礎地盤が悪い場合は基礎材厚を増やす、地盤改良を施す等処置を行ってください。

※ () の値は底版幅 (B) 1200 を表します

ガードレール基礎



ガードレール補強工



【ガードレール基礎数量表】

(10m当り)

名称	規格	単位	B=1050	B=1200
ガードレール	Gr-C(B)-2B	m	10.0	10.0
ガードレール基礎	B,C種	基	5.0	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.21	0.24
均しコンクリート	18-5-40BB t=100	m ²	11.50	13.00
同上型枠		m ²	2.00	2.00
基礎材	RC-40 t=100	m ³	11.50	13.00
継ぎコンクリート	24-8-25BB	m ³	0.29	0.33
同上型枠		m ²	0.32	0.32
鉄筋	SD345 D13	kg	14.93	17.91
ブロンアスファルト		m ³	0.01	0.01
砂		m ³	0.02	0.02

完成写真

